

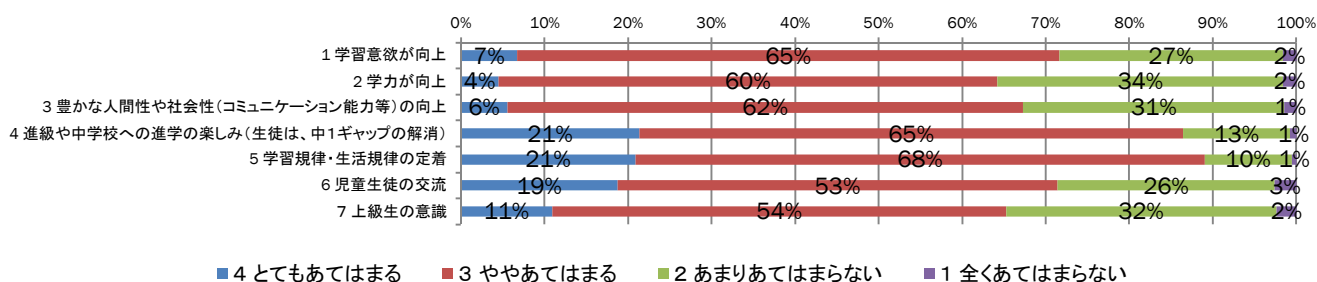
小中一貫教育推進室だより

教職員アンケート集計結果報告

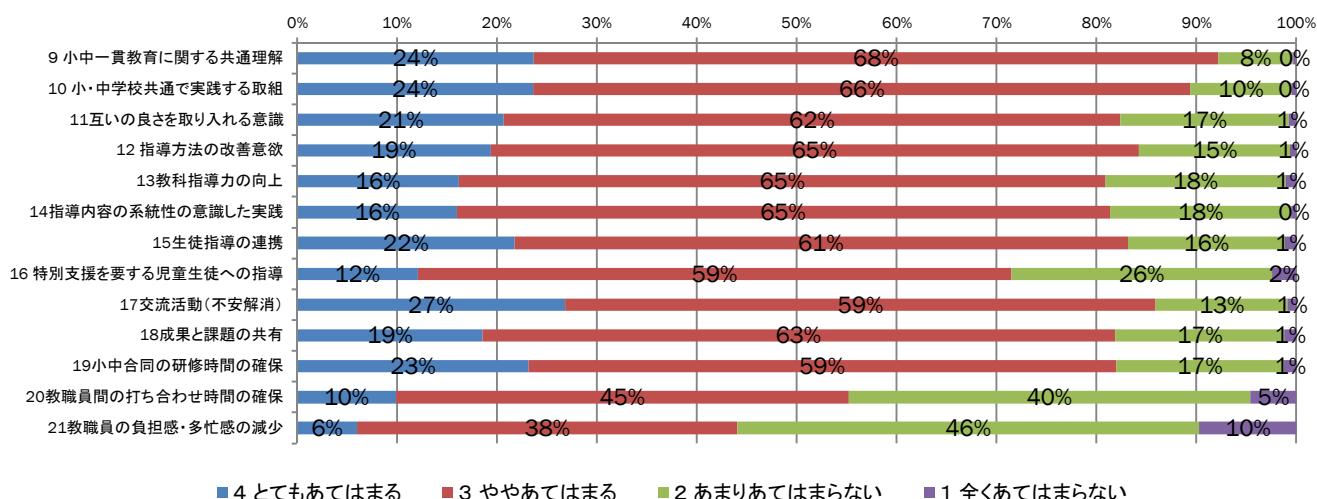
《実施概要》

- 目的** 小中一貫教育実施にあたり、教職員への意識調査を行い、成果と課題について把握し、今後の小中一貫教育の取組に活用するとともに、今後の経年比較を行い小中一貫教育の取組の参考に資する。
- 対象** 那覇市小学校教職員、中学校教職員
- 回答数** 小学校教職員826名、中学校教職員432名 合計1258名
- 調査期間** 平成30年1月9日(火)～平成30年1月19日(金)

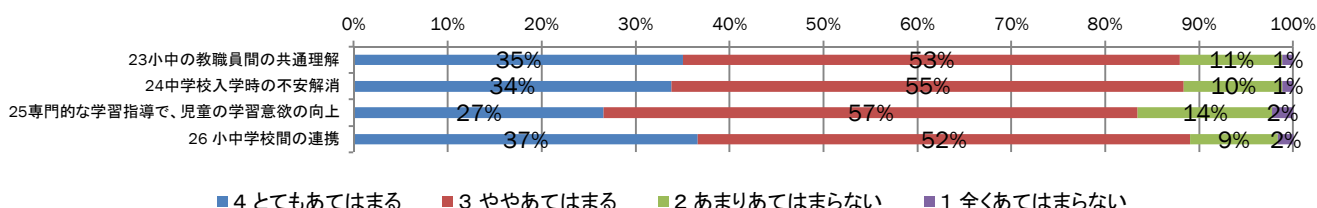
児童生徒に関すること



小中一貫教育に関すること



小中一貫教育コーディネーターに関すること



とてもあてはまる、ややあてはまると答えた教職員の割合を昨年(カッコ内)と比較すると、学習意欲が向上した→72%(54%)進級や中学校への進学に不安を感じる児童が減少した→86%(58%)学習規律・生活規律の定着が進んだ→89%(72%)教員の指導方法の改善意欲が高まった→84%(72%)教員の教科指導力の向上につながった→81%(69%)小中学校間の生徒指導での連携ができた→83%(77%)昨年度よりもとてもあてはまる、ややあてはまると捉えている教員が増えており、徐々に成果が出ている。一方で、教職員間の打ち合わせ時間の確保や負担感・多忙感を感じている教職員の割合が高く、実践事項の精選、仕事の効率化を図る取り組みが課題として挙げられる。